

## 北海道博物館 貸出教材一覧

## 1. 生活

	番号	1-1	名称	豆炭あんか	個数	2
	説明					
	<p>寝床や足もとをあたためるための暖房器具。火をつけた豆炭（石炭や石灰などの粉をまぜてかためたもの）を中にいれ、布で包んで使った。</p> <p>使用上の注意など</p> <p>実際に火をつけた豆炭を入れることはできません。</p>					
	番号	1-2	名称	湯たんぽ（金属製）	個数	3
	説明					
	<p>寝床や足もとをあたためるための暖房器具。中にお湯を注ぎ、布製の袋に入れて使う。</p> <p>使用上の注意など</p> <p>お湯を入れてもかまいませんが、やけどには十分に注意してください。</p>					
	番号	1-3	名称	湯たんぽ（プラスチック製）	個数	1
	説明					
	<p>寝床や足もとをあたためるための暖房器具。中にお湯を注ぎ、布製の袋に入れて使う。</p> <p>使用上の注意など</p> <p>お湯を入れてもかまいませんが、やけどには十分に注意してください。</p>					
	番号	1-4	名称	かつお節けずり	個数	3
	説明					
	<p>けずり節をつくるための道具。かつお節を手で持ち、木箱上部の刃にあててけずると、箱の中にけずり節がたまるしくみ。</p> <p>使用上の注意など</p> <p>実際にかつお節をけずることはできません。</p> <p>刃でけがをしないように十分に注意してください。</p>					

# 1. 生活

	<b>番号</b>	1-5	<b>名称</b>	ちょうちん	<b>個数</b>	2
	<b>説明</b>					
	持ち運び式の照明器具。中にろうそくを立て、火をともして使う。					
<b>使用上の注意など</b>						
和紙の部分が特に壊れやすいので、気をつけて取り扱うようにしてください。						

	<b>番号</b>	1-6	<b>名称</b>	電気式のちょうちん	<b>個数</b>	1
	<b>説明</b>					
	照明器具。中に電球が入っており、コードをつないで明かりをつける。お祭りのかざりなどとしても使われる					
<b>使用上の注意など</b>						
コンセントにつなげば、明かりをつけることができます。紙の部分が特に壊れやすいので、気をつけて取り扱うようにしてください。						

	<b>番号</b>	1-7	<b>名称</b>	ダイヤル式電話機	<b>個数</b>	2
	<b>説明</b>					
	現在のプッシュ式電話機が普及する以前、一般的に使われていた。電話をかけるときには、数字が書かれた穴に指を入れ、指止めまで右に回転させて戻す動作をくりかえす。					
<b>使用上の注意など</b>						
通話はできません。						

	<b>番号</b>	1-8	<b>名称</b>	氷冷蔵庫（ダンボール製模型）	<b>個数</b>	1
	<b>説明</b>					
	電気冷蔵庫がなかった時代に使用した木製の冷蔵庫。中に氷を入れ、冷気を利用して食品を冷やす。氷は氷屋から購入した。					
<b>使用上の注意など</b>						
23.0×31.5×23.0cmの模型。解説イラストつきです。ダンボール製でもろいため、丁寧に扱うようお願いいたします。冷やす際は、保冷剤をご利用ください。						

## 1. 生活

	番号	1-9	名称	炭火アイロン	個数	1
	<b>説明</b>					
	炭火の熱を利用して、布や衣服のしわをのばす道具。ふたをあけて、火のついた炭火の中に入れて使用する。					
<b>使用上の注意</b>						
実際に炭を中に入れることはできません。また、重いので、落としてケガをすることがないように注意してください。						

	番号	1-10	名称	アイロン	個数	1
	<b>説明</b>					
	布や衣服のしわをのばすための道具。金属部分を炭火や火鉢の火などで熱してから布にあてる。					
<b>使用上の注意</b>						
あたたためて使う場合は、やけどに十分に注意してください。 重いので、落としてケガをすることがないように注意してください。						

	番号	1-11	名称	こて（焼きこて）	個数	6
	<b>説明</b>					
	布や衣服のしわをのばすための道具。アイロンでは届かないような細かいところに使用する。先端部を、炭火や火鉢の火で熱してから布にあてる。					
<b>使用上の注意</b>						
あたたためて使う場合は、やけどに十分に注意してください。						

	番号	1-12	名称	金だらい・洗濯板	個数	3
	<b>説明</b>					
	洗濯をするための道具。たらいに水をためて、衣類などをぬらし、洗濯せっけんをつけてから板を使ってごしごしと洗う。					
<b>使用上の注意</b>						
洗濯を体験することができます。						

参考文献

国立歴史民俗博物館 内田順子・関沢まゆみ監修『古い道具と昔のくらし事典 台所と食卓の道具』株式会社 金の星社、2018年  
 国立歴史民俗博物館 内田順子・関沢まゆみ監修『古い道具と昔のくらし事典 住まいの道具と衣類』株式会社 金の星社、2018年